



株主のみなさまへ

## 第99期 報告書

2017年4月1日 ▶ 2018年3月31日



**旭ダイヤモンド工業株式会社**

証券コード：6140

## ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、日頃より当社へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第99期（2018年3月期）の営業概況をご報告し、「中期経営計画2017-Polish Up Asahi-」の振り返りと今後の見通しについてご説明させていただきます。ご一読を賜り、当社へのご理解を一層深めていただければ誠に幸いに存じます。

2018年6月

代表取締役社長 **片岡 和喜**



**Q** 当期(第99期)の営業概況について  
総括願います。

**A** 世界的な景気拡大の追い風を受け、期初の  
業績予想を上回る、大幅な増収となりました。

当期は、米国や中国を始め欧州及び主要な新興国など、世界的な景気拡大を背景に受注が順調に回復しました。積極的な販売活動と製品開発も実を結び、売上高は期初の予想を大きく上回る結果となりました。しかし第4四半期に入ると、太陽電池市場の急激な悪化による太陽電池シリコンウエーハ価格の下落に伴い、電着ダイヤモンドワイヤにおいては、需要の軟化、供給過剰及び価格の急激な低下が発生したことにより受注数量が減少したことに伴い、電着ダイヤモンドワイヤ製造設備にかかる減損損失24億51百万円の特別損失を計上いたしました。

業界別に振り返ると、電子・半導体業界は、半導体や液

晶関連の生産増に伴って受注が順調に拡大したため、増収となりました。

輸送機器業界では、国内・世界とも自動車生産台数が増加する中、当社は開発に注力してきた高精度歯車加工用工具のバリエーションを増やした結果、自動車関連工具を中心に増収となりました。

機械業界は、軸受、超硬工具ともに、自動車や産業機械向けで生産が拡大し、関連工具の販売は大きく増加しました。

石材・建設業界でも新製品の市場投入効果や海外でのポータブルカッタの販売が増加し、増収となりました。

当期の連結業績は、売上高454億58百万円（前期比8.2%増）、営業利益46億40百万円（同75.5%増）、経常利益50億74百万円（同72.3%増）となりましたが、前記の特別損失の計上により親会社株主に帰属する当期純利益は16億14百万円（同35.1%減）となりました。

なお、期末配当金は1株につき5円、中間配当金と合わせた年間配当金は1株につき13円となりました。

**Q** 3か年中期経営計画の振り返りを  
お願いします。

**A** 市場環境の激変に伴って、数値目標は未達となりましたが、「グローバルダイヤモンド工具メーカー」としての基盤構築は着実に進んでいます。

2015年度に策定し、実行してまいりました「中期経営計画2017-Polish Up Asahi-」が2017年度で3か年計画の最終年度となりました。

「中期経営計画基本方針」のうち「売上高・営業利益等の数値目標\*達成」については、市場環境が大きく変化したため、売上高、利益目標ともに未達となりました。「資本効率及び資産効率の向上」については、期間中の連結配当性向40%以上は達成し、自己株式の取得・消却や政策保有株式の売却も実施いたしました。また、「実効的なコーポレートガバナンスの実現」については、社外役員の増員など様々な施策を進め、コーポレートガバナンスは新たなフェーズへと進めることができたと評価しております。

また「計画期間中に実行する全社テーマ」として「グローバル市場において、最高品質の製品開発と顧客満足度の高いサービスの提供、当社の成長と企業価値向上を担う人材育成」を掲げておりましたが、各種新製品のリリース、研修内容の見直し及び組織変更による業務分掌が明確になったことなど、一定の成果をあげることができました。

※ 2017年度の数値目標は、連結売上高510億円、連結営業利益80億円、連結営業利益率15.7%、自己資本利益率10.0%でした。

**Q** 今後の見通しをお聞かせください。

**A** 引き続きダイヤモンド工具メーカーとして、ゆるぎないポジションの確立を目指します。

次期の業績につきましては、世界経済の好調が持続し、

国内も拡大基調が続くと思われ、各業界向け製品の販売底上げはあるものの、電着ダイヤモンドワイヤの売上半減が予想されることから、減収減益となる見通しです。

当社は2017年10月に創立80周年を迎えたことを契機に、新たな経営理念「モノづくりをもっと面白く」を策定し、目指すべき姿として「唯一無二」「永続的な成長」「働きがい」を掲げ、全社一丸となり様々な施策を進めてまいります。(7頁ご参照)

なお、太陽電池市場の環境変化に加え、自動車のEV化等、市場環境が大きく変化する可能性が高まる中、当社の進むべき中長期的な方向性を改めて検討すべき時期にあります。したがって、現時点での新中期経営計画の策定は当面見送ることとし、別途、中長期的な課題を検討・抽出し「中長期経営課題」として掲げたくうえで、新たな成長戦略を策定していきたいと考えております。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

#### 第100期の連結業績予想 (2018年4月1日から2019年3月31日まで)

売上高	43,000百万円	(当期比 5.4%減)
営業利益	2,700百万円	(当期比 41.8%減)
経常利益	3,350百万円	(当期比 34.0%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,250百万円	(当期比 39.3%増)
年間配当金	1株当たり13円	(中間6円、期末7円)

※ 当報告書に記載の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

# ビジネスフィールド

当社グループは、世の中に存在する最も硬い素材であるダイヤモンド及びCBNを使用した工具を製造・販売しており、「切る」、「削る」、「磨く」、「穿つ」などといったモノづくりの基本となる工程において、幅広い業界のお客様から高い信頼を得ております。

## 電子・半導体業界

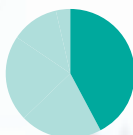
Electronics and Semiconductor

半導体市場でメモリーや電子部品の生産が好調に推移するなど関連工具の販売が増加したことから、売上高は192億57百万円(前期比5.1%増)となりました。



売上構成比

42.4%

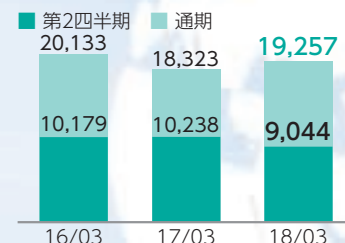


売上高

19,257 百万円



売上高 (単位: 百万円)



## 輸送機器業界

Transportation

自動車の生産が好調に推移し、高品質・高精度工具を中心に関連工具の販売が増加したことから、売上高は93億円(前期比9.7%増)となりました。

売上構成比

20.5%

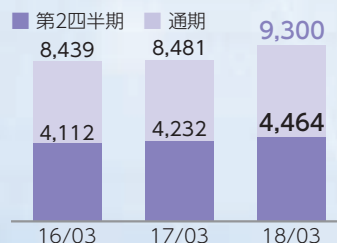


売上高

9,300 百万円



売上高 (単位: 百万円)



## 機械業界

Machinery

軸受及び超硬工具業界で自動車や産業機械向けの生産が好調に推移し、関連工具の販売が増加したことから、売上高は98億84百万円(前期比12.3%増)となりました。

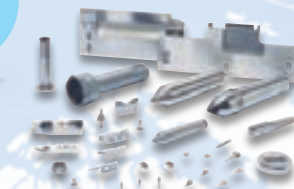


売上構成比

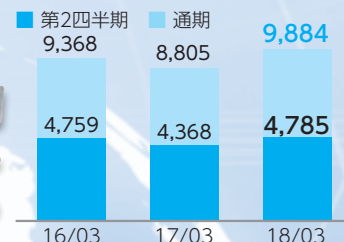
21.7%

売上高

9,884百万円



売上高 (単位: 百万円)



## 石材・建設業界

Stone and Construction

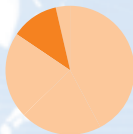
国内の建設業界で新製品の市場投入効果があり、海外向けポータブルカッタの販売も増加したことから、売上高は53億53百万円(前期比11.1%増)となりました。

売上構成比

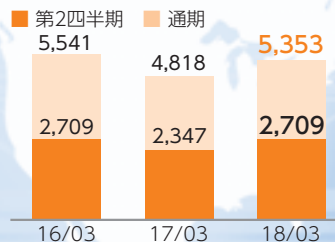
11.8%

売上高

5,353百万円



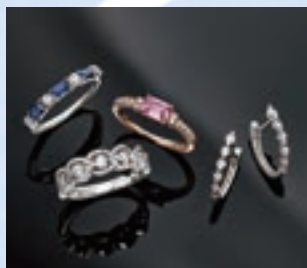
売上高 (単位: 百万円)



## その他

Other

大学、研究機関、窯業及び宝飾等上記以外の業種への売上高は16億62百万円(前期比4.2%増)となりました。

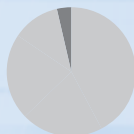


売上構成比

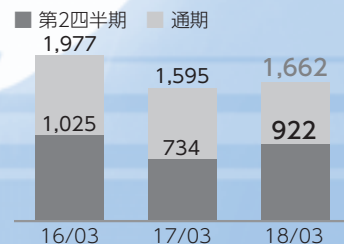
3.6%

売上高

1,662百万円



売上高 (単位: 百万円)



日本

(単位:百万円)

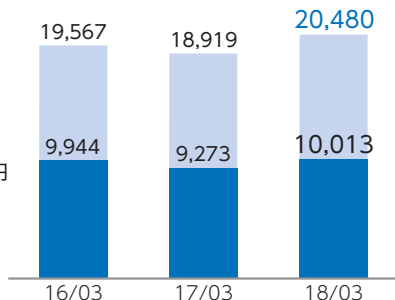
■ 第2四半期  
■ 通期

売上高

20,480 百万円

売上構成比

45.0%



台湾

(単位:百万円)

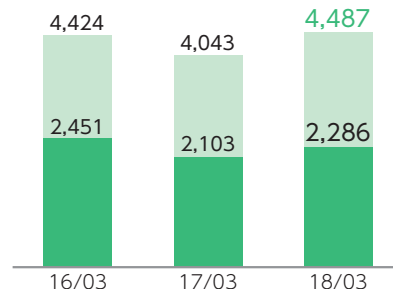
■ 第2四半期  
■ 通期

売上高

4,487 百万円

売上構成比

9.9%



中国

(単位:百万円)

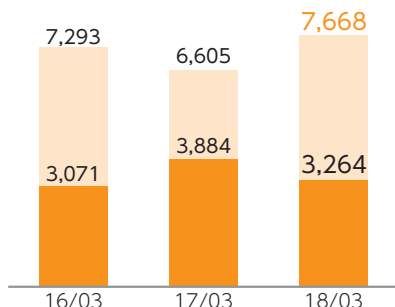
■ 第2四半期  
■ 通期

売上高

7,668 百万円

売上構成比

16.9%



その他アジア・オセアニア

(単位:百万円)

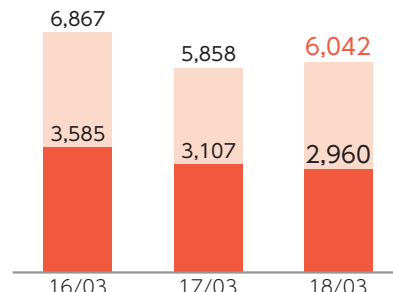
■ 第2四半期  
■ 通期

売上高

6,042 百万円

売上構成比

13.3%



ヨーロッパ

(単位:百万円)

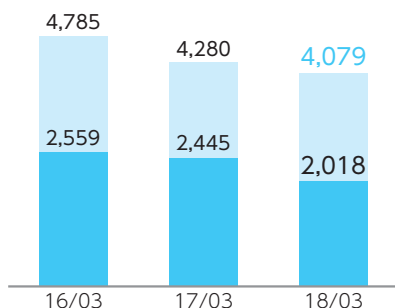
■ 第2四半期  
■ 通期

売上高

4,079 百万円

売上構成比

9.0%



その他

(単位:百万円)

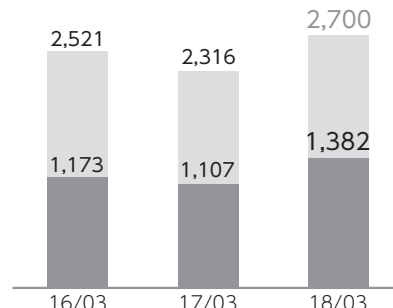
■ 第2四半期  
■ 通期

売上高

2,700 百万円

売上構成比

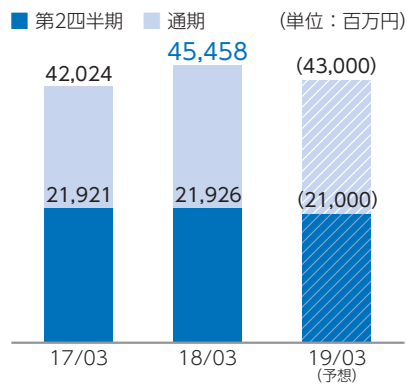
5.9%



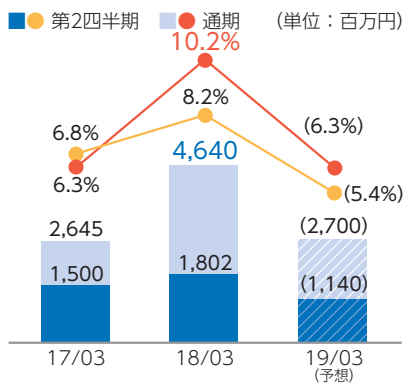
当期の  
業績のポイント

売上高	45,458百万円	(前期比 8.2% 増↑)
経常利益	5,074百万円	(前期比 72.3% 増↑)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,614百万円	(前期比 35.1% 減↓)
年間配当金	13円	(前期比 3円 減↓)

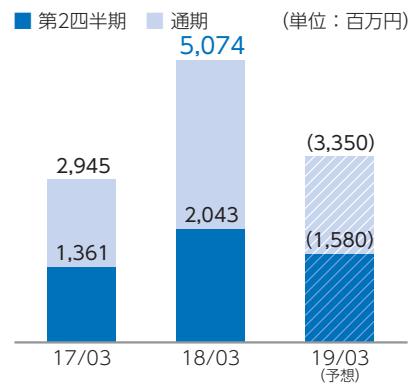
売上高



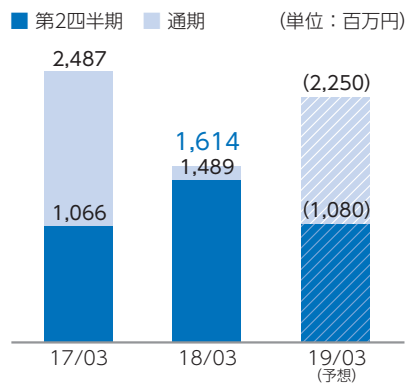
営業利益及び売上高営業利益率



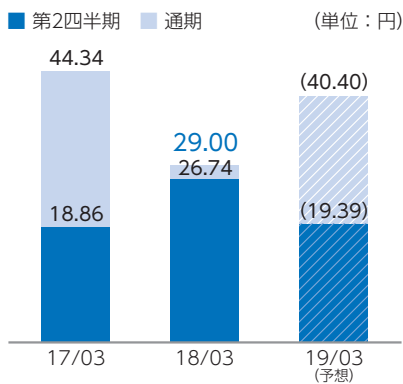
経常利益



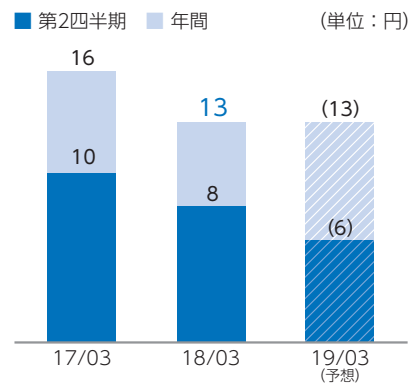
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



1株当たり当期(四半期)純利益



1株当たり配当金



2017年10月に創立80周年を迎えたことを契機に、  
新たな経営理念を策定しました。



旭ダイヤモンド工業グループは、「できないをできる」に変え、  
あらゆる産業のモノづくりに貢献し、社会の発展を支えてきました。  
テクノロジーの進化が加速しているモノづくりの現場では、日々困難な問題に取り組んでいます。

解決の糸口は、『面白く』。

ユニークな技術やソリューションは、未来の大きな進歩に夢を馳せるワクワク感から、いつも生まれてきます。  
私たちは、お客様と共に「モノづくりをもっと面白く」し、社会の発展に貢献していきます。

目指す姿

唯一無二  
One and Only

永続的な成長  
Eternal Growth

働きがい  
Job Satisfaction

行動指針





連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

	当期 2018.3.31	前期 2017.3.31
<b>資産の部</b>		
流動資産	38,585	33,160
固定資産	36,092	37,521
有形固定資産	19,919	23,133
無形固定資産	107	123
投資その他の資産	16,065	14,265
<b>資産合計</b>	<b>74,678</b>	<b>70,682</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	6,421	4,964
固定負債	8,548	8,429
<b>負債合計</b>	<b>14,969</b>	<b>13,394</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	53,898	53,065
資本金	4,102	4,102
資本剰余金	7,129	7,129
利益剰余金	42,671	41,836
自己株式	△ 4	△ 2
その他の包括利益累計額	4,522	3,044
その他有価証券評価差額金	3,786	2,958
土地再評価差額金	162	162
為替換算調整勘定	589	△ 53
退職給付に係る調整累計額	△ 16	△ 23
非支配株主持分	1,287	1,178
<b>純資産合計</b>	<b>59,708</b>	<b>57,288</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>74,678</b>	<b>70,682</b>

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

	当期 2017.4.1から 2018.3.31まで	前期 2016.4.1から 2017.3.31まで
<b>売上高</b>	<b>45,458</b>	<b>42,024</b>
売上原価	32,035	31,129
売上総利益	13,423	10,895
販売費及び一般管理費	8,782	8,250
<b>営業利益</b>	<b>4,640</b>	<b>2,645</b>
営業外収益	449	453
営業外費用	15	153
<b>経常利益</b>	<b>5,074</b>	<b>2,945</b>
特別利益	26	419
特別損失	2,451	123
税金等調整前当期純利益	2,649	3,241
法人税等	945	699
当期純利益	1,704	2,541
非支配株主に帰属する当期純利益	89	54
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>1,614</b>	<b>2,487</b>

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

	当期 2017.4.1から 2018.3.31まで	前期 2016.4.1から 2017.3.31まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,439	6,205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,393	△ 1,194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 939	△ 2,631
現金及び現金同等物に係る換算差額	86	△ 68
現金及び現金同等物の増減額	3,192	2,310
現金及び現金同等物の期首残高	15,276	12,966
現金及び現金同等物の期末残高	18,468	15,276

詳しい決算情報は当社IR情報をご覧ください。 → <http://www.asahidia.co.jp/ir/>

旭ダイヤ IR

### 株式の状況

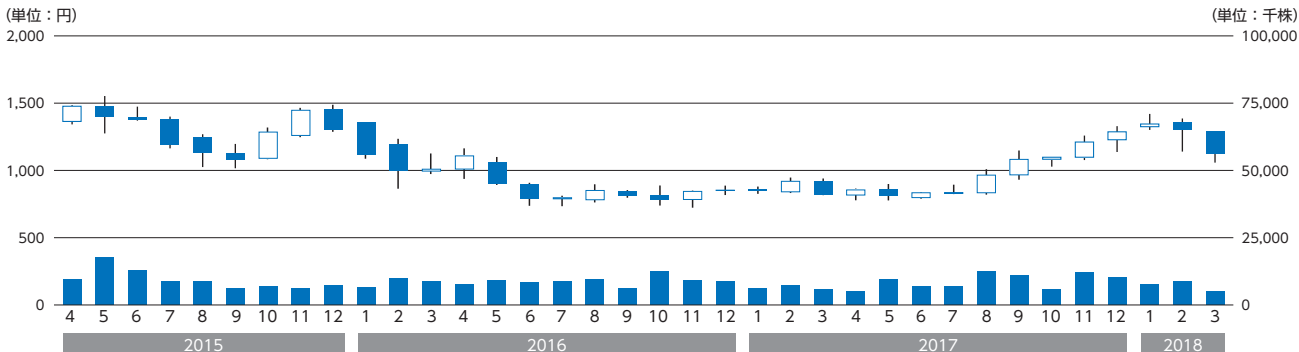
発行可能株式総数 190,300,000株  
 発行済株式の総数 55,700,000株  
 株主数 11,378名

### 大株主 (上位10名)

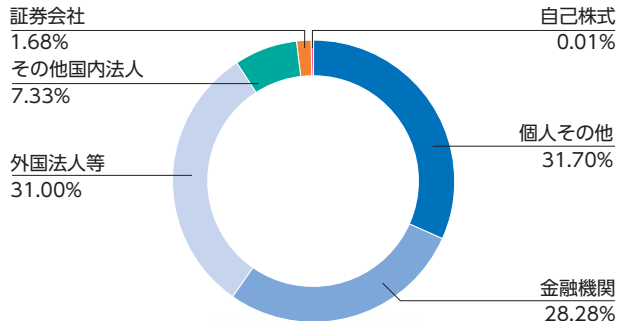
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,637	4.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,472	4.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,494	2.68
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	1,465	2.63
旭ダイヤモンド社員持株会	1,387	2.49
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,384	2.49
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,364	2.45
ユニオンツール株式会社	1,310	2.35
三井住友信託銀行株式会社	1,270	2.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,123	2.02

(注)1. 持株比率の計算は、自己株式5,058株を除いて計算しております。  
 (注)2. 持株数については、表示単位未満の端数を切り捨て、持株比率については四捨五入して表示しております。  
 (注)3. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、2018年4月1日付で、株式会社三菱UFJ銀行に商号変更しております。

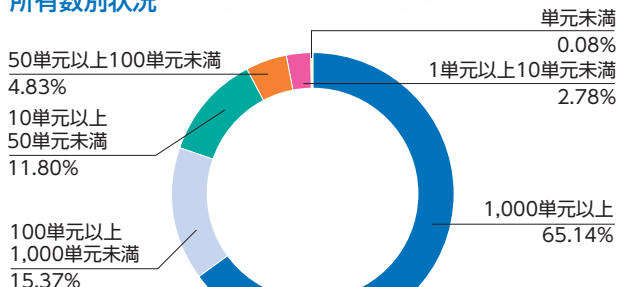
### 株価・出来高推移



### 所有者別状況



### 所有数別状況



## 会社概要

商号 旭ダイヤモンド工業株式会社  
 英文社名 Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.  
 本社所在地 東京都千代田区紀尾井町4番1号  
 設立年月日 1937年10月9日  
 資本金 4,102,188,450円  
 従業員数 1,046名 (連結 2,157名)

## 役員 (2018年6月26日現在)

### 取締役

代表取締役社長	片岡和喜
代表取締役常務	粉川和勇
常務取締役	奥井威夫
取締役	藍敏雄
取締役	谷口和昭
取締役	鈴木徹
取締役	萩原利昌
取締役(社外)	小山修
取締役(社外)	永田新一

### 監査役

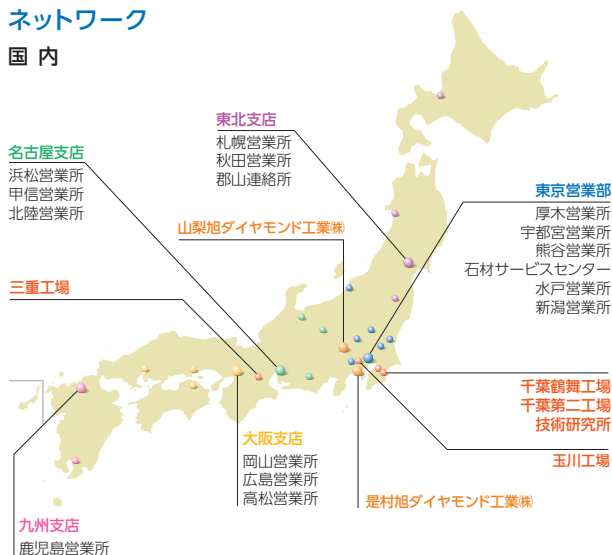
常勤監査役	香山盛夫
監査役(社外)	大高由紀夫
監査役(社外)	川嶋誠人

### 執行役員

常務執行役員	大河内孝夫
常務執行役員	滝口明
執行役員	井元修三
執行役員	阿部英夫
執行役員	原智彦
執行役員	望月政司
執行役員	松田順一
執行役員	松川英樹
執行役員	花木永典
執行役員	小浦雅美

## ネットワーク

### 国内



### 海外



駐在員事務所  
 ヨーロッパ駐在員事務所 (フランス)

海外グループ会社  
 是村磨料(上海) (中国)  
 上海旭ダイヤモンド工業 (中国)  
 台湾旭ダイヤモンド工業 (台湾)  
 新韓ダイヤモンド工業 (韓国)  
 旭ダイヤモンドタイランド (タイ)  
 旭ダイヤモンドインドネシア (インドネシア)  
 旭ダイヤモンドマレーシア (マレーシア)  
 旭ダイヤモンドオーストラリア (オーストラリア)  
 旭ダイヤモンドアメリカ (アメリカ)  
 旭ダイヤモンドメキシコ (メキシコ)  
 旭ダイヤモンドヨーロッパ (フランス)  
 旭ダイヤモンドドイツ (ドイツ)  
 旭ダイヤモンドスウェーデン (スウェーデン)

## 株主メモ

決算と配当金のお支払	毎年3月31日を決算期とし、年1回の決算を行います。配当金は毎決算期現在(中間配当をする場合は毎年9月30日現在)の最終の株主名簿に記録された株主又は登録質権者に対し、ご指定の方法によりお支払いいたします。
定時株主総会	毎年6月下旬に開催いたします。
定時株主総会の基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。(http://www.asahidia.co.jp/)但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



### WEBサイトのご案内

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報、ジュエリーの情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



URL : <http://www.asahidia.co.jp/>



Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.

